

第79回平和憲法を守る 神奈川県民集会

「紀元節」復活＝「建国記念の日」に反対し、今、改めて「皇民」化教育を問う

「教科書問題から考える 教育への『逆流』のいま」

育鵬社の歴史教科書は、アジア太平洋戦争が自衛のための戦争であったと主張し、アジアの国々への侵略や植民地化、また沖縄戦の叙述が不十分で、日本軍の加害について学ぶことができない偏向教科書で、学校現場や市民の使用反対の声を無視して、横浜市や藤沢市で9年間以上も使用され続けられている。2020年の採択では、市民や学校現場の長い闘いにより、横浜も藤沢も育鵬社の教科書を採択を阻止し、全国での採択も激減させた。闘いの勝利だ。しかし、「日の丸・君が代」「道徳」の教科化を含め、教育への反動化攻撃は続いている。今回は、教育現場での経験を持つ竹村雅夫藤沢市議から、今回の採択結果、育鵬社を激減に導いた市民の闘い、道徳教科書の問題点などについて問題提起してもらい、教育現場の今を学びます。多くの皆さまの参加を呼びかけます。

日時 2月11日(木・休) **13:30～** (開場 13:15)

場所 県民サポートセンター304

(JR横浜駅西口より 徒歩5分)

講師 竹村 雅夫(藤沢市議会議員、元湘南教組委員長)

※資料代・会場費 500円 開催協力券(300円)で参加できます。

感染症対策のため、体調の悪い方の参加はご遠慮ください。また、参加時はマスク等の対策をお願いします



主催 かながわ平和憲法を守る会

代表委員 呉東 正彦 (弁護士・原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会共同代表)

連絡先 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民活動サポートセンター内238

TEL 090-11056980 e-kaihou@ezweb.ne.jp

問い合わせ 090-2542-0413

吉田 akira-yo.manabu@docomo.ne.jp

042-797-7486 (FAX共)

瀬川 e-kaihou@nifty.com